



3月補正予算・令和4年度当初予算 を修正可決しました

議案名

令和3年度笠岡市一般会計補正予算
(第10号)

令和4年度笠岡市一般会計予算

Q 3月補正について、なんの予算を修正したの？

A 次の事業の予算（総額1040万円）を削除しました。

事業名	削除した予算額
①未来こども教育基金積立金 (寄附による基金の積立を行い、児童生徒の未来につながる事業に活用する。)	1000万円
②こども善行表彰 (子供たちの優れた活動や見過ごしがちな善行を発掘し、表彰する。 表彰名：未来たまご表彰)	40万円

Q なぜ修正したの？

A 主な執行部からの説明と、委員の意見は次のとおりです。

①未来こども教育基金積立金

執行部の説明

学校図書整備費引当基金の名称を変更し、学校図書及び教材等の整備並びに青少年健全育成施策等の経費に充てることができるよう、この度基金条例の改正を提案するものである。

質疑応答

委員からの「基金とはそもそも何か。」「基準はあるか。」「既存の基金に積み立てて活用できないか。」等の質問に対し、執行部からは「基金とは一般家庭でいう貯金に当たり、目的別に設けている。金額的な基準はないが、額が大きい等の理由で、その年の予算に計上が難しいものについては基金に積み立て、翌年度以降で各目的の事業に充てる。教育振興やソフト面に対する基金はなく、教育振興について寄附をいただくことも多いため、今回改正を検討した。」との説明がありました。

また、委員からの「寄附は大変ありがたいことである。それゆえに寄附者の意向をくみ、丁寧に検討しなければならない。しかし、1月の総務文教協議会において、新規で基金をつくるという趣旨で報告されていたことと異なる内容で予算計上されているのはなぜか。」との質問に対し、執行部からは「協議会での意見を踏まえて検討し、既存の基金を改正するという形で提案した。」「基金を設けることで、学校現場が本当に必要としているものを求めることができる予算を確保し、様々な活動を充実させたい。」との説明がありました。

委員の意見

◇思いは十分理解しているし、寄附を否定するものでも全くない。しかし、きちんとした制度があるからこそ思いが届くし、継続もできる。今一度、しっかりとした制度設計をして、責任をもって運用できるようにしてほしい。

②こども善行表彰

執行部の説明

子供たちの優れた活動や善行を表彰するもので、未来こども教育基金からの繰入金で充当する。

質疑応答

委員からの「新しい表彰を設けなくても、既存の善行表彰の中でできないか。寄附者の意向があるのか。」との質問に対し、執行部からは「寄附者の意向ではなく、市として検討した。現在規程のある善行表彰では主に大人の表彰となるため、自主的な善行を表彰することで、子供たちが触発され、より多くの子供たちが自主的に善行をするという輪が広がっていくようにしたい。」との説明がありました。

委員の意見

◇別の表彰で、基準があいまいなことにより、子供たちの間でいじめにつながりかねない事例があったと聞く。善行やボランティアは一握りの子供が行っているものではないし、脚光を浴びたくてやっているのではないと思う。また、あえて目に見える形で行わない善行もある。寄附者の意図をくむために、もう少し精査すべきである。